

理工学 メディアセンター ニュース



Media Center for
Science and Technology
Newsletter

私の一冊

物理情報工学科

太田泰友先生

『2100年の科学ライフ』
ミチオ・カク著 斉藤隆央訳
(NHK出版)



配架場所：本館2階図書

本書を手にとったのは、自分に子供が生まれ未来がどうなるかが非常に気になった、という科学者としては少々不純な動機からである。ただ、読み始めれば基だ面白かった。子供が10歳となった今でも皆さんに紹介したいと思うほどである。言うなれば物理法則に従うドラえもんを読んでいるようなもので、その科学の未来についての描写は今でも全く色褪せていない。説明もとても分かりやすく科学が完全にエンターテインメントと化している。この本に刺激を受け私は、我々がタイプIII文明に到達する頃にはGravitational wave Amplification by Stimulated Emission of Radiation(Gaser)装置によって惑星系を自在にデザインできるようになっているのではないかと夢想するようになった。

Contents

2023年度ラーニングサポート開始
大学院生が皆さんの相談にこたえます! p.1

英語論文投稿セミナー開催
- Web of Science を使いこなそう - p.1

文献コピーが届くまで
文献複写サービスの流れ p.2

いろいろな電子ブックを
活用してみよう p.2

学習支援

2023年度ラーニングサポート開始

大学院生が皆さんの相談にこたえます!

新学期が始まって1か月、授業や課題など学習のことで悩んでいませんか？
そんな時に相談できる頼りになる先輩がメディアセンターにいます。

ラーニングサポートは理工学研究科の院生によるピアサポートで、様々な
学科出身の院生スタッフ10名が、皆さんの学習に関する相談に乗ります。

院生スタッフはどのような方々ですか？

ラーニングサポートのWebページで、それぞれの学科や得意分野を紹介しています。またブログでも自己紹介をしていますので、ぜひそちらもあわせて参考にご覧ください。



メディアセンターに行かないと相談できませんか？

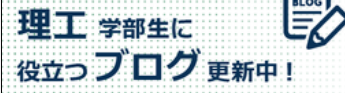
相談方法は、①対面 ②Zoom ③メール の3通りです。
ご自分に合った利用方法でラーニングサポートを活用してください。詳しくはWebページを確認してください。

日吉に通っている1年生ですが相談できますか？

もちろん日吉キャンパスに通う学部の1・2年生からの相談もウェルカムです。実際に毎年数多くの相談を受けています。時間が合わずに矢上キャンパスまで来ることが難しい場合はオンライン(Zoom・メール)でも相談できます。



ラーニングサポートWebページ



ブログ「実学(サイエンス)のすゝめ」では、院生スタッフが、研究室選び、就職活動、留学、学会発表から論文投稿まで、自身の経験から皆さんに役立つ情報を発信しています。ぜひチェックしてみてください。



ブログはこちらから

セミナー

英語論文投稿セミナー開催

- Web of Science を使いこなそう -

英語論文の投稿には、本文の書き方や英語表現のスキルも重要ですが、論文を書く前後のプロセスにも着目する必要があります。

Web of Science の提供元であるクラリベイト・アナリティクス社から講師を招き、Web of Science ならびにジャーナル・インパクトファクターを活用した効率的な論文執筆・投稿フローを紹介します。

アクセプトされる論文を書くために重要な研究の進め方も交えて説明します。

【日時】2023年6月7日(水) 15:00-16:30

【配信方法】Zoomウェビナー

【対象】慶應義塾大学所属者

【講師】クラリベイト・アナリティクス

【申込】右のリンクから

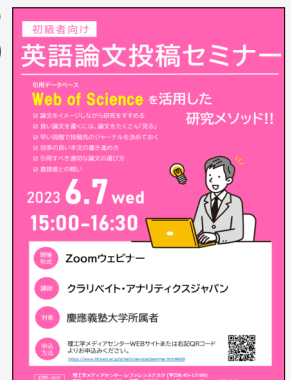


【5月実施のウェビナー】

◆ Reaxys 5/10

◆ Mendeley 5/17

◆ 文献探索セミナー 5/12・5/24



今月の一枚: 新着図書



理工学メディアセンターでは新刊の書籍や利用者の皆さんから購入リクエストのあったタイトルを中心に新しい図書を毎日のように迎え入れています。多い時には1週間に50冊近くもの図書が入荷することも…!

これらの新刊の書籍は当センターWebサイトの「新着図書」にて紹介しています。毎週月曜日にアップロードしているので、ぜひチェックしてみてください。

新着図書リストはこちらから→



さらにメディアセンター1階の入口正面にある新着図書コーナーでも展示を行っています。新しい図書を続々と展示していきますのでメディアセンターに来た際は手に取ってみてください。

メディアセンター豆知識

コピー機はどこ?

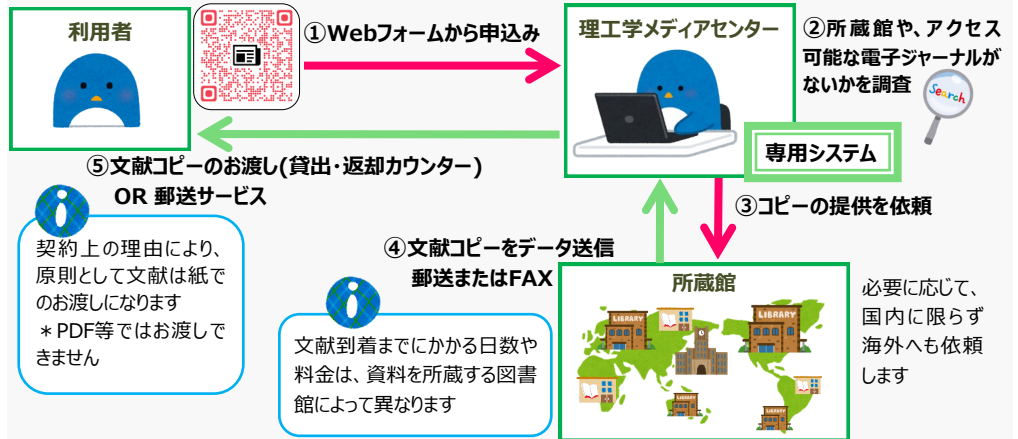
キャンパスで取り組んでいるペーパーレス化や紙の雑誌から電子ジャーナルへの移行・拡大に伴い、館内でのコピー枚数も減少しています。このため別館と創想館に設置している2台のコピー機が、5月15日に撤去されることになりました。今後は、本館1階レファレンスデスク前のコピー機をご利用ください。また、利用の際には以下の点に留意してください。

- ・メディアセンターのコピー機は、蔵書のコピーをとる場合に利用可能であり、ノート等私物のコピーはできません。
- ・蔵書のコピーは、著作権法で認められている範囲内に限られます。
- ・コピー終了後は、備付の「文献複写申込書」に必要事項を記入し、投函してください。

研究・学習支援 文献コピーが届くまで

文献複写サービスの流れ

探している論文(文献)が、紙も電子もメディアセンターにないという場合に、協定校である早稲田大学をはじめとした他機関の図書館から、著作権の範囲内でコピーを取り寄せることができるサービスを知っていますか? 2022年には、世界各国の加盟図書館ネットワークを通じて、迅速に文献コピーの提供・入手が可能な「RapidILL」というシステムを導入しました。海外からの取寄せは、郵送の場合と比較して格段にスピードアップしています。申込みから文献コピーが到着するまでの流れを以下の図で紹介しますので、お探しの文献がメディアセンターにない場合は、是非活用してください!



研究・学習支援

いろいろな電子ブックを活用してみよう

皆さんは、電子ブック(以下、EB)を活用していますか? KOSMOS(蔵書検索システム)で図書を検索した際に「オンラインで利用可」と表示された場合は、購入済みまたは購入可能なEBがあります。EBの提供元は一つではありませんので、検索して表示がいくつか出る場合は、それぞれの中身を確認してみましょう。利用可能なEBが見つかるかもしれません。利用できるEBが無い場合は、リクエストボタンから、もしくは当センターWebサイトの「申し込む」タブから「購入希望」フォームへ入力して申し込みましょう。

図書館雑学になりますが、EBの中には、EBA(Evidence Based Acquisition)という販売形態があります。EBAとは、出版社が販売するEBを分野等でひとまとめにしたものを一定期間(1年や数か月等)自由に使い、期間後、そのコレクションの中から価格分のタイトルを選択して買い切ることができるというサービスです。利用実績を評価することができるため、需要に見合った購入タイトルを決めることができます。ちなみに、2020年1月~12月はRoyal Society of Chemistry、2022年4月~2023年3月はElsevierのEngineering and Computingを契約し、2023年4月~12月は、Institute of PhysicsのEBAが利用できるようになりました。さらに2022年10月~2024年3月は、早慶和書電子化推進コンソーシアムのコンテンツ(KinoDen)として、岩波書店・講談社・光文社・裳華房・日本評論社の約1200冊が加わり、年々利用できるEBが増加しています。

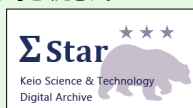
4月から授業が始まり、皆さんも教科書・参考書を準備されたと思います。シラバスに掲載されている図書でEBが利用可能なものは、当センターWebサイトトップページのバナー「教科書・参考書リスト」からも利用できます。ただし、出来たてのシラバスをこのリストに反映するには少し時間がかかります。2023年度版のリストが更新されましたら、ぜひ活用してください。



理工学メディアセンター機関リポジトリ

ΣStar(シグマスター)

ΣStarでは理工学部の研究・教育成果のうち、電子化され、著作権の許諾が得られたものを公開しています。学位論文・プレプリント・リサーチレポート・その他教材など、登録のご相談は理工学メディアセンターまでお寄せください。



発行

慶應義塾大学理工学メディアセンター

〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

TEL: 045-566-1477

E-mail: rmc-info-group@keio.jp

URL: https://www.lib.keio.ac.jp/scitech/

電子版はWebサイト「理工学メディアセンターについて」メニューにある「刊行物・統計」よりご利用ください。

Twitter

